

徒然なる日記120930～続けること～

E-book推進協会

続けること

小学生のころから書き続けている日記は累計1万ページに及んだと思う。ときどき読み返す。あんなことで当時悩んでいたのか、ちっぽけだったな、と思ったりして面白い。それで味を占めてからもう日記を書くのがやめられない。日記中毒かもしれない。

思ったその瞬間に書ければ一番良い、というのがモットーだ。だから、何か思いついたり、はっとしたり、不満だったりを、すぐに書き留めたい衝動に駆られる。実際、午前中の出来事を昼飯の合間にメモのように走り書きしたりする。そうしてたまったメモを読み返すのがまた一興だ。そういうときの文章のほうが情感がこもっている。

そうして普段思っていることを自分ひとりでなく、他人が読んだらどう思うだろうと書き始めたこの徒然なる日記も、もうすぐ10作目。作品というには短すぎて、他の著者には失礼だろうが、体裁としては10作目に変わりない。まず、書いてみる。その後、読者の反応を見て改良を加えればいい。そうして始めて早10日。書かない日があってもいい。そこをきっちりルール化しない。適当に書きたいと思ったときに書く。

これからもそうして書き溜めていこう。完全なる自己満足だが、それでいいんだ。続ける中で何か分かることがある。すぐに結果や変化は分からない。ある程度の未来から今のこの日記を読む自分が何か気づければそれでいい。

2012年9月30日記す